

令和5年度（2023年） 事業報告、決算報告及び監査報告の件

I 事業報告

1 概略

2023年5月にコロナ感染症が5類に移行したことにより、人の動き及び各種集会等の再開が可能となった。当協会においても、料理教室、映画会、会員交流会等が再開され当協会会員等が集まり情報交換、親睦等を行うことができた。しかし他団体の再開状況については把握できなかったため、交流行事などへの後援、参加などは、一部を除いて行うことができなかった。一方、ボリビアとのビジネスやNPO法人の活動、アカデミックな調査などへの情報提供は従来通り協力することができた。

2 当協会主催事業

① 会報 Cantuta 発行

4回（52号（2023年6月）、53号（同9月）、54号（同12月）、55号（2024年3月）発行した。会員全員へ冊子版を送付するとともに、国内外のボリビア関係団体へもメール版または冊子を配布した。協会ホームページでも随時見ることができるようアップロードしている。

② ホームページ・SNSの運営

ホームページは随時更新し、充実を図っている。講演会動画や新年交流会のフォルクローレ演奏などの動画もアップロードした。2023年5月の定時総会で承認されたSNS運用方針に沿って、当協会公式アカウントでFacebook, Twitter, Instagramの運用を開始し、アクセスも徐々に増加しつつある。

③ 協会企画の会員参加イベントの開催

(1) 南米料理を楽しむ会の開催

2023年7月1日、午後1時から4時半まで千代田区スポーツセンター7階調理教室において「南米料理を楽しむ会」が開催された。21名のご参加で、セビーチェ、シルパンチョを作り、ボリビアワインやシンガニを飲みながら懇談、盛会のうちに終了した。ラテンアメリカ協会イベント情報へのアップロードや、ラテンアメリカ二国間協議会のご協力で広く周知をいただき、会員のみならず、多くの非会員にも興参加いただいた。

(2) 新年交流会（講演と懇親会）の開催

コロナ感染症蔓延のため3年間開催のできない状況が続いたクリスマスイベントを本年度は新年交流会として開催、30名の参加。当協会椿会長の「今、ボリビアの政治、経済そして社会はどうなっているか？」講演の後は、会員相互と関係者の親睦を目的とした懇親会（ビッフェ形式の会食）とフォルクローレ音楽を工藤豪、佳菜子ご夫妻のグループ「カパックニャン(Qhapaq Ñan)」にお願いしました。懇親とともに最後はフォルクローレの演奏に参加者のダンスも加わり、ボリビアの一日を楽しみました。

(3) ボリビア映画会

10月14日に千代田区スポーツセンター映写室にて、ボリビアのウカマウ集団の映画「最後の庭の息子たち」を上映し、シネマテーク・インディアスの太田昌国氏を迎え座談会を行った。23名の参加を得て、参加者からは映画にまつわるボリビアでの体験が聞かれたり、映画にまつわる疑問を太田さんから解説いただいたりし、映画の枠を超えて、ボリビアへの理解が深まった会となった。

④ 2023年度理事会・定時総会

2023年4月14日に2023年度の監査を実施、同4月に第一回理事会を電磁的方式にて開催して2023年度事業報告（案）BS/PL（案）を承認した。5月28日（日曜日）に定時総会を集合及リモート併用のハイブリット方式にて開催した。総会では2023年度事業報告の承認、2024年度事業計画・予算の報告、任期満了に伴う役員全員改選、並びに一部退任に伴う補充選任、同日引き続き2023年度第2回理事会を同じ方式で開催、役員職務選定を行った。

2024年3月26日（火曜日）には2023年度第3回理事会をハイブリット式で開催し2023年度の事業報告、決算報告（暫定）及び2024年度の事業計画（案）及び予算（案）を承認。

3 他団体主催事業・当協会会員・一般関係者への後援・協賛・協力など

- ① 2023年4月にHISよりボリビアに子会社をするに際しての法的問題について相談があり、当協会よりボリビア在住の西澤篤路弁護士を紹介したところ、同社と西澤弁護士の間で種々のやりとりがあり、2024年2月に西澤弁護士より同月末に支店設立の運びとなったとの報告があった。
- ② 2023年4月、株式会社IKUMAより同社が制作しているTBSの番組「世界くらべてみたら」のために当協会が所蔵している実景素材を拝借したいとの依頼があったところ、写真については在京ボリビア大使館が同国観光省作成の写真を豊富に所蔵しているので当大使館に照会しては如何と紹介するとともにボリビアの地理に関する情報を提供した。

- ③ 2023年5月にテレビ東京よりボリビアにおける日系人の方々に関する取材を行いたいと考えているとして、ぜひお話を伺えないかとの希望表明があった。これに対しては当協会より回答する前に伺いたい点があるとして4項目を照会するとともに小野村駐ボリビア大使が同局制作の「ニッポンに行きたい人応援団」でボリビアを取り上げては如何と働きかけていることを承知している旨回答しておいたが、その後同局からは返答はなかった。
- ④ 2023年8月、ユーラシア旅行社よりボリビアにおける商用ビザの取得について申請から受領までの経緯をご教示願いたいとの要請があった。同社によれば在京ボリビア大使館に連絡を試みているが通じないとのことだったので、同大使館の移転先と新しい電話番号を提供した。同社からは当協会からの情報を多とするとともに大使館へ問い合わせをし、商用ビザ取得につき進展することができたとの御礼があった。
- ⑤ 2023年8月、「令和5年度 中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業（農林水産省）事務局」より、産学官交流「アグリ・フードビジネス」という訪日プログラムの募集を現在行っていて。中南米の農業・食産業分野の企業が、日本企業とのビジネスの検討・調査・商談のために、約2週間、2023年11月10日～11月25日の期間で日本を訪問できるプログラムとなっているとして、9月3日の応募締め切りまでに関心を持ちそうな中南米の組織（企業、研究機関、公的機関等）をご存知でしたら、ぜひご案内いただきたい、との要望が寄せられ、早速小野村駐ボリビア大使に連絡したところ、同大使からはサンタクルス領事駐在事務所にも連絡の上、ボリビアから2名の応募があり、うち1名が上記プログラムに採用された。
- ⑥ 2023年8月、NHK名古屋放送局より愛知県在住の日系4世に関する番組を制作しているとして移民画像の提供要請があったところ、当協会はかかる画像は持ち合わせていないので海外日系人協会に照会したところ、「海外移住資料館が所蔵している、「中南米移住地写真集 1964」の中から写真を選んで申請すれば画像を貸与することができる」として具体的な申請方法の提供があったので、具体的な申請方法等を含め、同協会の総務部長から同局担当宛に直接連絡がいきますので対応するよう案内した。
- ⑦ 2023年9月、『ボリビアに生きる』の日本語版を1冊入手したいとの購入希望が寄せられたが、当協会には在庫がないので、閲覧ができる JICA 横浜の海外移住資料館を紹介した。
- ⑧ 2023年9月、一般社団法人「キメラユニオン」より同法人が2024年5月に主催するイベントへの在京ボリビア大使館の後援を得たいこと、及び同協会の参加の有無につき照会があったので、同大使館に照会すること及び当協会は不参加である旨回答した。
- ⑨ 2023年10月、東京外国語大学大学院院生より同院生が修士論文「海外進出日系企業における異文化間コミュニケーションとビジネス通訳者の役割」用に調査している事項

につき調査依頼が接到了が、宛先が日本ポリビア商工会議所事務局となっていたところ、先ずは宛先が間違っている旨指摘の上、残念ながらアンケート内容は当協会が回答できるものではないと回答した。同院生からは「メールのご返信をいただいただけでも大変有り難く存じます。このような一学生の依頼に対してもご丁寧にご対応いただき、ありがとうございました。」との礼状が届いた。

- ⑩ 2023年12月、日本の中古タイヤを国外に輸出している企業である「ナド」社から、ポリビアでの廃タイヤのリサイクル事業の展開を検討しているとして、日本とポリビアのビジネス上の注意点や日本人コミュニティについて当協会関係者と面談したいとの要望が寄せられたが、残念ながら当協会では要望内容に対応をできないとした上で、JETROに照会しては如何と助言した。
- ⑪ 2023年12月、NPO法人「Dot-jp」よりインターンシッププログラムに関する受入協力の要請があったが、当協会は独自の事務所を有せず、少人数でボランティア活動的に運営している協会であり、インターンを受け入れることができるような活動は行っていないので、ご期待に添えることは困難だと思いと回答した。
- ⑫ 2024年1月、南米アンデスの風景写真家である松井章氏より『ポリビア開拓記』入手希望が寄せられたところ、執筆者を紹介した。その後、同氏と当協会関係者との交流が進み、同氏は当協会会員となるとともに同氏のポリビア取材旅行についても照会があったので、ポリビア在住の関係者を紹介するとともに最近のポリビア事情についてもブリーフした。
- ⑬ 2024年2月、IHSサンパウロ支店より同年8月に沖縄県金武町町長訪問団がサンタクルスを訪問する予定であるとして、日本語通訳（案内人）のご依頼を頂くことは可能かとの照会があったので、ラティーノの田中社長に相談の上、同社に相談しては如何と助言した。

Ⅱ 決算報告：収支計算書

収支計算書

令和6年3月31日収支資料

令和5（2023）年度収支決算書

一般社団法人 日本ポリビア協会

令和6年3月31日

収入の部

(令和5年4月1日-令和6年3月31日 単位：円)

科目	年度予算	実績	予算差額 (予算額 - 実績額)	予算 達成率	実績額についての備考
会費収入	432,000	638,000	206,000	147.7%	個人維持合算
個人会員	252,000	188,000	-64,000	74.6%	予算計上84名中 48名納入
維持会員	180,000	450,000	270,000	250.0%	6団体
事業収入	215,000	170,000	-45,000	79.1%	
年末交流会	150,000	96,000	-54,000	64.0%	1/13に実施
映画観賞会	20,000	17,000	-3,000	85.0%	10/14に実施
料理(食事)会	45,000	57,000	12,000	126.7%	7/5に実施
雑収入	30	20,036	20,006	66786.7%	口座利息+寄贈本販売
収入合計	647,030	828,036	181,006	128.0%	
前期繰越金	3,804,496	3,804,496	0	0%	
収入の部合計	4,451,526	4,632,532	181,006	104.1%	

支出の部

科目	年度予算	実績	予算との差額 (予算額 - 実績額)	予算 消化率	実績額についての備考
1. 管理費					
通信運搬費 他	25,000	7,370	17,630	29.5%	書類郵送料、通信費等
交通費	10,000	0	10,000	0.0%	事業分は各事業費へ計上
事務管理費等	80,000	44,067	35,933	55.1%	総会等資料印刷送付、各種手続を含む
雑費他	10,000	0	10,000	0.0%	
管理費合計	125,000	51,437	73,563	41.1%	
2. 事業費					
イベント開催費	305,000	228,671	76,329	75.0%	イベント合算値 <input type="checkbox"/> 内再掲
年末交流会	200,000	143,884	56,116	71.9%	1/13実施
映画観賞会	45,000	32,220	12,780	71.6%	10/14実施
料理(食事)会	60,000	52,567	7,433	87.6%	7/5実施
友好親善(支払負担金等)	50,000	50,000	0	100.0%	
ホームページ維持管理費	90,000	87,710	2,290	97.5%	HPメンテ(SE作業)費本年度分
カントウタ発行費	160,000	146,530	13,470	91.6%	年間4回発行
事業費合計	605,000	512,911	71,876	84.8%	
3. 予備費					
予備費	20,000	0	20,000	0.0%	該当支出無し
支出合計	750,000	564,348	185,652	75.2%	
次期繰越金	3,701,526	4,068,184	366,658	109.9%	
支出+繰越	4,451,526	4,632,532	-181,006	104.1%	

貸借対照表

R5年度財産関連書

一般社団法人 日本ポリビア協会

貸借対照表 (令和6年3月31日)

資産の部	
現金	0
預金	4,771,184
資産合計	4,771,184
負債の部	
未払金	0
前受金	703,000
負債合計	703,000
正味財産の部	
指定正味財産	0
一般正味財産	4,068,184
(当期正味財産増減)	(263,688)
負債及び正味財産合計	4,068,184

財産目録 (令和6年3月31日)

資産の部	
現金	0
預金	4,771,184
三菱UFJ銀行	4,506,951
ゆうちょ銀行	264,233
資産合計	4,771,184
負債の部	
未払金	0
前受金	703,000
負債合計	703,000
正味財産	4,068,184

財産増減計算書 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

区分	期首残高	前期未収額	期首財産額	期末残高	今期負債額	期末財産額	増減
現金	0	0	0	0	0	0	0
預金 三菱UFJ銀行	3,515,137	0	3,515,137	4,506,951	703,000	3,803,951	288,814
ゆうちょ銀行	289,359	0	289,359	264,233	0	264,233	△ 25,126
預金小計	3,804,496	0	3,804,496	4,771,184	703,000	4,068,184	263,688
合計	3,804,496	0	3,804,496	4,771,184	703,000	4,068,184	263,688

Ⅲ 監査報告

令和5年（2023年）度監査報告書

一般社団法人 日本ボリビア協会

会長 橋 秀洋 殿

私たち監事は、当協会の令和5年（2023年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日まで令和5（2023）年度における日本ボリビア協会の活動について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び、一般財団法人に関する法律99条第1項（一般社団法人、及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項）及び、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則64条において準用する同規則36条及び45条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の業務及び財産の状況について調査しました。


上記の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点について適正に表示しているものとも認めます。

令和6（2024）年4月14日

監事 八尋 正 

監事 小林 正博 

令和6年度（2024年） 事業計画及び予算書の件

I 事業計画

1 基本方針

前年度に引き続き、外務省、在日ボリビア多民族国大使館、一般社団法人ラテンアメリカ協会など関係機関・組織及び在日ボリビア人団体、ボリビアと関係が深い民間企業、当協会会員、在日ボリビア人関係者と連携を図り、当協会の目的である親日国ボリビアとの友好関係を維持・発展させるために必要な活動を以下の基本方針により実施する。

- ① 自主企画イベントにより会員相互のコミュニケーションを図ると同時に、ホームページ・SNS、会報等の広報活動を通じて会員とボリビアに関心を寄せる一般個人の活動への参加を促進する。
- ② 日ボ両国の政府・民間企業・団体による政治・経済・社会・文化の各分野での活動と併行して、当協会も主として文化交流活動を通じて、これまで以上に両国関係者・団体の相互理解と友好親善を積極的に促進し、当協会の使命である民間における両国関係の発展・強化・促進を目指す。

2 具体的事業活動計画

(1) 自主企画イベント

① 年末交流会

会員相互の親睦を深め、また、会員に対しボリビアに関するアドホックな情報提供を目的として令和6年1月に開催した新年交流会を令和6年度は年末交流会として前年度に引き続き開催する。年末（12月）開催を計画する。

② オンライン茶話会

遠方に住む会員にもイベントに参加してもらう機会を設けるため zoom 等を利用して、ボリビアに関するオンラインイベントを行う。内容は、ボリビアに住む日本人や日系人に講演を依頼し、ホットな現地情報の提供や会員同士の情報交換を予定している。

③ 南米料理を楽しむ会

南米（ボリビア等）料理を作ってみる、食べてみる、ことでボリビアに親しむ会。会員

同士の親睦になると同時に、一般の料理に興味を持つ方、中南米文化に興味を持つ方に参加してもらい、協会を広く認知してもらうことを目的とする。

④ ボリビア関連展示会・講演会

ボリビア関連の政治・経済・社会・文化についての展示会や講演会を行い相互理解と友好改善を図る。

(2) 会報 Cantuta の発行

「ボリビアと日本を繋ぐ企業・団体情報」をシリーズとして、ボリビアに関連する企業や団体の取り組みを取り上げていく。ボリビアの政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースや学術研究情報を収集する体制を整備するとともに、寄稿者を広く募集する。渡邊英樹相談役の著書「ボリビア開拓記外伝」は琉球新報社のご協力でカントウータに連載中であるが、特に在ボリビア・在日の日系人が読みやすいように全漢字ルビ付きで発行していて、大変好評である。

(3) ホームページ、SNS を活用した発信力の強化

協会において収集整備した情報を速やかに、HP を通じて公開する。 SNS (Twitter、インスタグラム、Facebook) の日本ボリビア協会公式アカウントを通じた発信を行う。会員のみならず、広く一般個人・企業・団体へ訴求できるようにし、日本ボリビア協会の認知を高め、興味のある人々、企業の参加を促進できるようにする。

(4) ボリビア関係情報の提供・支援体制の整備充実

ボリビアの政治・経済・文化、日系人などの情報提供と支援体制をボ両国の政府・大使館・JICA/JETRO/商工会議所などと連携、協力を得て整備し、個人・企業へ積極的に提供・支援する。

(5) 在日ボリビア人コミュニティ及び関係団体との連携協力促進

在日ボリビア多民族国大使館、ボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者やその集住地域と連携し、各コミュニティの文化・交流イベントを通じ積極的に交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互の交流促進に協力する。

具体的には、在日ボリビア人有志による Bolivia Festival、NPO 法人 Maiken による在日ボリビア人集住地への Chagas 病の感染防止活動、日本ラテンアメリカ文化交流協会の文化交流イベント Camino a LA、千葉県多古町まちづくり機構によるラテンミュージックフェスタなど。

(6) ボリビアの日系人社会、団体との交流と活動支援

当協会役員・会員や関係者のボリビア訪問機会を増やして、ボリビア日系協会連合会とボリビア全国各地の日本人会などの関係組織・団体や、各個人との友好親善関係の維持

発展に努めると同時にその活動を支援する。

(7) 日本のマスコミ・メディアのボリビア関係取材への協力

ボリビア関係情報の提供を通じて、日本のマスコミ・メディアへボリビアに関するPR広報を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る必要な活動を実施する。

(8) ボリビアを含むラテンアメリカ関係団体との連携協力

日本ラテンアメリカ協会をはじめ在日ラテンアメリカ関係諸団体と、相互に情報を共有し、連携協力を進める。

II 予算書

令和6（2024）年度収支予算書

令和6（2024）年度収支予算書				
(令和6年4月1日-令和7年3月31日 単位：円)				
収入の部				
科目	令和5年度 予算(参考)	令和5年度 実績(参考)	令和6年度予算額	備考
会費収入	432,000	638,000	1,102,000	個人額・維持額の合算
個人会員	252,000	188,000	352,000	85 個人会員
維持会員	180,000	450,000	750,000	6 維持会員
事業収入	215,000	170,000	175,000	個別5イベントの収入合算値
雑収入	30	20,036	50	R5° 実績は寄贈本販売費2万円含む
収入合計	647,030	828,036	1,277,050	
前期繰越金	3,804,496	3,804,496	4,068,184	
支出の部				
科目	令和5年度 予算(参考)	令和5年度 実績(参考)	令和6年度予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬費 他	25,000	7,370	25,000	
交通費	10,000	0	10,000	
事務管理費等	80,000	44,067	120,000	
雑費他	10,000	0	10,000	
管理費合計	125,000	51,437	165,000	
2. 事業費				
イベント開催費	305,000	228,671	440,000	個別5計画の算定合算値
友好親善費	50,000	50,000	150,000	他団体行事への参加費用・会費等
ホームページ維持管理費	90,000	87,710	90,000	HP SE年間作業費とサーバードメイン管理費含む
カントウタ発行費	160,000	146,530	160,000	年4回発行
事業費合計	605,000	512,911	840,000	
3. 予備費	20,000	0	100,000	不測の事態に備え計上する
支出合計	750,000	564,348	1,105,000	
次期繰越金	3,701,526	4,068,184	4,240,234	

第3号議案

役員選任案承認の件

理事 椿 秀洋（重任）
森下 鉄夫（重任）
細萱 恵子（重任）
永井 和夫（重任）
八杉 哲（新任）
吉田 憲司（重任）
上崎 雅也（重任）
大川 裕司（重任）
大貫 良夫（重任）
田中 純一（重任）
長嶺 爲泰（重任）
宮城 信彦（重任）
宮地 隆廣（重任）

監事 小林 正博（重任）
監事 黒澤 啓（新任）

以上敬称略

第4号議案

令和5年度（2023年度）会員入退会報告の件

◆令和5年度末（2024年3月31日）

個人会員	85名	
維持（法人）会員	6社	計91
名誉会員	木村翰由、嘉手苺義男	2名

◆令和5年度入退会状況

入会

個人会員	6名
維持（法人）会員	1社

退会

個人会員	3名	
維持（法人）会員	0社	令和5年度会員増減 +4